

製品名: Rap 2B ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab16889**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:50-1:300
分子量	18kDa

抗原情報

遺伝子名	RAP2B
別名	RAP2B; Ras-related protein Rap-2b
遺伝子 ID	5912.0
SwissProt ID	P61225
免疫原	抗血清はヒト RAP2B 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 98-147

背景

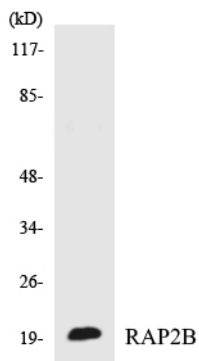
このイントロンのない遺伝子は、RAS 関連遺伝子ファミリーに属します。これらの遺伝子によってコードされるタンパク質は、古典的な RAS タンパク質と約 50% のアミノ酸相同性を持ち、多くの構造的特徴も共通しています。RAP タンパク質と RAS タンパク質の

最も顕著な違いは、61番目のアミノ酸にあります。RASタンパク質のグルタミンは、RAPタンパク質ではスレオニンに置換されています。このタンパク質はポリイソプレニル化およびパルミトイル化されている可能性が示唆されています。[RefSeq提供、2008年7月]、ドメイン：エフェクタードメインはRUNDC3Aとの相互作用を媒介します。、類似性：小型GTPaseスーパーファミリー（Rasファミリー）に属します。、サブユニット：PLCE1と相互作用します。SGSM1、SGSM2、およびSGSM3と相互作用します。GTP結合型のRAP2BはRUNDC3Aと相互作用します。、

研究分野

シグナル伝達; シグナル伝達経路; Gタンパク質シグナル伝達; 低分子Gタンパク質; Rasファミリー

画像データ



RAP2B抗体を使用したCOLO205細胞の溶解物のウエスタンブロット分析。